



2015年12月1日
第576号

1部10円(組合員は組合費を含む)
郵便振替00960-7-117274

Tel (06)4793-0633 Fax(06)4793-0644 E-mail: info@ewaosaka.org http://www.ewaosaka.org

発行 大阪教育合同労働組合
Education Workers and Amalgamated Union Osaka(EWA)

発行人 酒井 さとえ

連絡先 大阪市中央区北浜東1-17 8F



府労委が大阪府の命令不履行を認め 地裁・検察に通知!

大阪府と組合の間で争われてきた団体交渉拒否事件の各確定命令(6件の謝罪文手交、うち1件は加えて団体交渉応諾)について、府が命令を履行していない状況にあることが、大阪府労働委員会の11月11日の公益委員会議により決定しました。そして、11月24日、大阪府労働委員会は、労働委員会規則第50条により大阪地裁および大阪地検検察官にその旨を通知しました。

府と組合は、確定命令の一つである団体交渉に府が応じること、そして府と組合の労使関係を正常化していくこと

で合意していました。しかしながら、7月2日に設定されたその団体交渉の直前になって、府は今までと同じ条件で交渉を行うことにこだわり、団交の席につくことを拒否しました(本紙569号・570号参照)。それにも関わらず、後になって府は「7月2日に団交は開催された」と主張し始め、謝罪文手交を済ませたいと5年間におよぶ争いの幕引きを図ろうとしています。

命令不履行には大きな代償
命令不履行であることが明らかとなった今、事態は大阪

府知事松井一郎への過料(いわゆる金銭を払うこと)、あるいは一年以下の禁錮(いわゆる監獄に入ること)もしくは100万円以下の罰金が射程に入ることとなりました。

労働委員会命令を守らない「ブラック自治体」としてさらに名をあげるのか、大阪地裁、大阪地検の今後の対応に注目です。

酒井さとえ(執行委員長)

当面の日程

12月5日(土)18時~ エルおおさか南館5Fホール

「辺野古基地建設強行糾弾! 12・5緊急関西集会」 資料代500円

12月6日(日) 13時半~ エルおおさか大会議室

「戦争教科書」いらん! みんなで声を上げよう大阪集会」

講演: 上杉聡さん「なぜ、大阪府内で育鵬社が大量採択されたのか?」

12月7日(月) 10時~ 大阪地裁809

「君が代」不起立戒告処分撤回裁判第2回口頭審理

12月29日(火)・30(水) 11時~ 大阪空港北ターミナル

JAL解雇撤回支援闘争 大阪共闘年末行動



安倍=橋下による改憲 戦争、労働者攻撃への反撃を準備しよう

~大阪W選の結果を受けて~

11月22日のW選挙は、残念な結果に終わりました。5月の住民投票勝利から半年、維新政治に終止符を打つことはできませんでした。

【敗因は何か?】

何が足りなかったのか?】

敗北の原因はいくつか考えられます。橋下・維新による徹底した反維新ブロック分断策を超えられなかったこと、住民投票で「わからなかったらとりあえず反対」した多くの人々を投票所に向かわせられなかったこと、戦争法推進の自民党には投票できないと感じた人が結構いたことなど。私たちが心から応援できる候補を持ってなかった弱さの反映でもあります。



梅田ヨドバシカメラ前でのSADL(民主主義と生活を守る有志)街頭演説会

【若者たちによる

新たな闘いが生まれる】

しかし、新たな闘いの芽は確実に成長しています。SADL

(民主主義と生活を守る有志)

やSEALDs KANSAIなど、戦争法案反対に立ち上がった若者たちが、W選挙の中でも、街

頭に出て市民との対話を重ね、維新政治の改革の影響を受けてきた現場取材し、生の声を映像として伝えるなど、さまざまな活動を展開しました。今後も闘い続ける決意を表わしていることに勇気づけられます。また「オール沖縄」で闘う沖縄の人々にも大いに励まされました。

【橋下は国政をねらうのか?】

安倍=橋下の結託を止める!】

今後も続くことになった維新府政、市政に対して、労働組合としてキチンと闘っていくとともに、安倍=橋下が結託して進めてくるであろう改憲、戦争、労働者攻撃などに反撃していきましょう。

寺本勉(高校支部)

戦争への道をひらく教育改革反対！ 教職員給与費の政令市費化反対！

11.27 全学労組・全学労連全国総決起集会開催

11月27日、東京・憲政記念会館講堂において、全学労組・全学労連全国決起集会が行われました。

【教育現場を取り巻く厳しい状況】
自衛隊と教育現場の急接近には、もっと大きな警鐘を鳴らさないと歯止めがきかなくなっています。道徳教育は、掛け声は立派だが中身は薄く、押しつけを感じても実施する、思考停止した教員の姿を垣間見る事態となっています。土

曜授業が悪発展し、土曜補習となり、労働強化になりかねなくなっていることなど新たな問題が勃発しています。教職員給与費の政令市費化、チーム学校の問題も目が離せない状況になっています。

【文科省、疑問の残る回答を繰り返す】
集会後、議員会館に場所を移し、文科省交渉を行いました。文科省からは3名が対応。時間制限が厳しく、交渉時間

は30分となり「給特法の廃止と労働状況の改善」に絞って交渉しました。

泊まりを伴う行事の労働時間に対して、適切な割振りが行われていないことについて、文科省は「適正な割振りが行われるよう任命権者を指導する」と疑問の残る回答を繰り返しました。

労働状況の改善については、「財務省から何とか定数改善が出来るような対応を引き出し、この状況を改善したいの

で応援してほしい」と交渉の場の発言としては異例さを感じさせる回答でした。

【教育政策見直しを訴え 東京の街をデモ】
集会・文科省交渉終了後、日比谷公園から銀座・水谷公園まで、安倍政権の教育政策の見直しを訴え、1時間余りをかけてデモを貫徹した。

高田晴美(副執行委員長)

文化おちこち

(154)

中国日本語教師物語

【第5回】

「おふくろの味は水餃子」



驚かれるかもしれないが、実は、私にとって懐かしいおふくろの味は水餃子である。子どもの頃、父がメリケン粉をこねて器用に綿棒で伸ばした皮に、母が用意した白菜・ニラ・挽肉の餡を包み、たっぷりの湯で茹でた餃子は何よりの御馳走であった。

【学生たちに伝えられない

父と母の歴史】

父も母も“引揚者”である。戦時日本は五族協和を謳い、今では中国の人々が偽国と呼ぶ傀儡国家「満州国」に多くの人が渡っていった。

1930年生まれの子は、母の父が亡くなった後、母や姉たちと、当時「満鉄」に勤めていた兄を頼って大連に行く。

そして2歳から16歳で終戦を迎えるまでその地で暮らす。もし、そう言うことが許されるなら大連は母の故郷であったわけだ。アカシヤ並木、三越、大和ホテル、星が浦公園、、子どもの頃から大連の話はよく聞かされた。

私は、今、母が女学校へ通い青春を謳歌し、戦争末期には「お国のため」とトラックの荷台に乗って海風を受けながら軍需工場へ向かったその地で暮らしている。私はまだこの話を中国の学生たちにできないでいる。

【被害者であり、そして加害者】

かつて、この街はすべて日本によって支配されていた。それは当時の地図を見てさえわかる。乃木通り、大正広場、犬養町、、。母は戦争の被害者であるが、同時に加害者でもあった。それを問うと「あの時代はみんなそうだったんだから。しかたがなかったんだよ」と言う。

国家と個人の問題は私にとっても今なお課題である。すでに戦時と言え日本で日本人の私はこれからどう生きればいいのか。 (Z)

賃金・一時金団交速報

～ 臨時国会不開催の影響で越年～



10月30日に阪学労とともに申し入れた賃金・年末一時金に関する団体交渉が11月24日、30日に行われました。

賃金・一時金団交が例年に比べ大幅に遅れた件について、府・府教委は、府の財政状況も一因としましたが、臨時国会が開かれず国家公務員給与の改定が進まないなか、総務省からの「情報提供」を受け、国との均衡を図るため大阪府の賃金を決定できないと考えていることが団交の中で明ら

かになりました。人事委員会勧告で具体的に指摘されている月例給、ボーナスの引き上げ等については、通常国会が開かれる年明け以降にしなければ回答できない見通しです。そのため、現時点では12月10日、現行条例に基づき(いずれも「標準」)、以下の支給にとどまる回答となりました。一般2.12月(期末1.375月勤労0.75月)、再任用で1.15月(期末0.8月勤労0.35月) 酒井さとえ(執行委員長)



明治維新をざっくり表現すると「勝てば官軍」今「維新の志士」気取りの政党はこう言うのだろう、「勝てば民

意」日本で民主主義が多数決での勝敗と見なされる素地はそこにあるのかもしれない 忘れるなかれ、「勝てば官軍」の行く末は、破滅的な戦争であった